

令和4年度 国語科 「言語文化」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	理数科 1年H組
教科書	言語文化（筑摩書房）	副教材等	「つながる・まとまる古文単語」（いっずな書店）、「新精選古典文法」・「新精選古典文法 演習ノート」（東京書籍）、「精選漢文」・「精選漢文ノート」（尚文出版）、「音と形で覚える 漢字の演習」（明治書院）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）

1 学習の到達目標

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めている。	古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりを理解する。	十訓抄 「大江山」	・歴史的仮名遣い、文語の決まりを理解する。 ・古文の読解を通して、我が国の言語文化の特徴的な表現について理解する。	行動の観察
	5	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	宇治拾遺物語 「絵仏師良秀」 「羅生門」	〈言語活動〉 他の作品と比較して、構成・表現上の違いから作者の意図を読み取る。	ワークシート分析
	6			第1回考査		
		古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	我が国の文化と外国の文化との関係を理解する。訓読の決まりを理解する。	「漢文入門」 「故事成語」	・訓読の決まりを理解する。 ・漢文の読解を通して、故事成語の由来を理解する。	行動の観察
		自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	文章の種類や文体などを工夫して表現を豊かにし、自分の考えを効果的に伝える。	更級日記 「東路の道の果て」	〈言語活動〉 自己の体験を基に、リライト作品を書く。	ワークシート分析
	8	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を解釈する。	史伝 「管鮑の交わり」	・漢文の読解を通して、作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を理解する。	行動の観察
	9			第2回考査		
		文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を解釈する。	史伝 「刺客荊軻」	・漢文の読解を通して、作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を理解する。	行動の観察

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	古典の世界に親しむために、必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	我が国の文化と、外国の文化との関係について理解する。 読書の意義について理解を深める。	唐詩 図書室の活用	・漢詩の読解を通して、作者のものの見方、感じ方考え方を理解する。 ・調べ学習を通して、授業に役立てる。	行動の観察 行動の観察
	11	和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	古典の世界に親しみ、古典を読むために読みを深める。 文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を解釈する。	平家物語 「木曾の最期」 徒然草 方丈記	〈言語活動〉 表現の特色を見つけ、どのような効果があるか理解する。 ・古文の読解を通して、作者のものの見方、感じ方考え方を理解する。	ワークシート分析 行動の観察
	12			第3回考査		
	1	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、考え方を深める。	論語 老子	・漢文の読解を通して、古人の主張を理解する。	行動の観察
	2	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	作品の成立した背景や他の作品との関連を踏まえ、内容の解釈をする。	和歌	〈言語活動〉 歌風の違いを言葉にする。	ワークシート分析
				第4回考査		

3 評価の観点

知識・技能	ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。
思考・判断・表現	【書く能力】ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【読む能力】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを確立している。
主体的に学習に取り組む態度	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを身につけようとしている。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

現代は異なる国や文化に属する人々との関わりが日常的な社会です。国際社会に対する理解を深めるとともに、先人が築き上げてきた伝統と文化を尊重し、我が国の言語文化に対する幅広い知識や教養を身に付けていきましょう。1年次の内容は3年間の学習の基礎になりますので、特に文法事項は復習に時間をしっかりと確保して下さい。